

# 大学生11人 芸術の集大成

## 岡崎で「もうひとつの卒業展」

県内で芸術を学んだ大学生十一人の「もうひとつの卒業展」が二十三日、岡崎市明大寺町のギャラリー葵丘(名鉄東岡崎駅南口)で始まった。二十七日まで。

(佐藤浩太郎)



作品を展示した大学生たち＝岡崎  
市明大寺町のギャラリー葵丘で

ガラス製のオブジェや陶芸作品、飾り棚、西洋画などそれぞれが、大学で専攻した分野の作品十数点が並ぶ。

愛知教育大造形文化コースでガラス工芸を専攻した大木春菜さん(三三)は、透明のガラスの中に連なった輪の模様が浮かぶ楕円形のオブジェ「内接する形」を展示。「光をきれいに受け止めるガラスの内側の表情を見てほしい」と話した。

十一人はそれぞれ別の大学に通うが、名古屋芸大で現代美術を学んだ神谷桑鳥さん(三三)が中心となって仲間を募り、展覧会が実現した。神谷さんは「学校の卒業だけでは表現しきれなかったものが集まった」と話した。

午前十時から午後六時まで。二十七日は午後四時まで。